

# 東邦大学医学メディアセンターにおける 著作権ヘルプデスクの取り組み

大谷裕， 黛崇仁（東邦大学医学メディアセンター）

東邦大学医学メディアセンター（以下，当センター）では，2019年5月に，利用者支援の一環として著作権ヘルプデスク（相談窓口）を開設した。今回の発表では，著作権ヘルプデスクに寄せられた相談内容についてとりまとめ，今後の展開について検討を行う。

## 1. 相談内容の分析

### (1) 受付件数

- ・著作権ヘルプデスクでは，2019年度～2022年度にかけて41件（年平均10.3件）の相談を受け付けた。
- ・当センターでは，著作権の他に，統計ソフト，文献管理ツール，文献検索，Microsoft Office，LMS，EBM・診療ガイドラインについてのヘルプデスクを設けており，これら全体の同期間の受付件数は750件（年平均187.5件）であった。
- ・このうち，統計ソフト，文献管理ツール，文献検索は年平均50件以上の相談を受け付けており，著作権ヘルプデスクは5番目となり，中位に位置していた。

### (2) 著作権ヘルプデスクの利用者属性

- ・最も多かったのが「教員」24名，次が「事務職員」19名であった。全ヘルプデスクの利用者属性からみると，「教員」の17.4%，「事務職員」の63.2%を占めていた。

### (3) 相談内容

- ・相談内容を利用目的で分類すると，講義での利用17件（41.5%），学事での利用11件（26.8%），研究での利用7件（17.1%），その他6件（14.6%）であった。
- ・個別にみると「講義での利用」では，講義スライドでの引用方法や講義システムのへ教材アップロードに関する問い合わせが寄せられた。
- ・「学事での利用」ではオープンキャンパスでの動画公開や，学内刊行物・掲示物への他者著作物利用についての問い合わせが寄せられた。
- ・「研究での利用」では，自著論文の公開方法などの問い合わせが寄せられた。
- ・「その他」には，出版社からの引用した図に対する料金請求や，学外の面識のない研究者からデータ提供依頼など様々なものがみられた。

## 2. まとめ

- ・著作権ヘルプデスクは，教職員からのニーズが高いサービスである。
- ・相談の中には，従来のレファレンスサービスに近い案件もみられ，図書館業務との親和性の高さもうかがえた。
- ・今後は，新たなサービス対象の掘り起こしとして，学生向けの著作権啓もう活動に力をいれたい。